

閉会挨拶

大井 玄（国立環境研究所地球環境研究センター長）

昨年開催された第1回のHDP研究者交流会議（以下交流会議）では、人文社会科学系の研究者の出席が少なかった点が、最も大きく批判を受けた。これを踏まえて開催された第2回の本交流会議—シンポジウムの閉会に当たって、2つの疑問を提示したい。

第一点は、共通言語は作られたか、という疑問である。

さまざまな研究分野の問題意識は重複しているが、個々の学問が垣根を作ってしまった、との植田先生の指摘、また、人文科学系の研究者が自然科学系の研究者に対して、自分たちの必要とする研究を進めてほしいと気軽に注文できるような場が必要である、との指摘などから、人文社会科学と自然科学の共通言語の需要は認識されつつあると考えられる。

第二点は、共通認識は本当に得られるのであろうか、という疑問である。

持続的な発展という豊かさを追求するために、主として外的な条件を整備していくという行き方は、基本的には「開放系における生存」という発想であり、人間を理性的、合理的な存在と仮定した上で成り立つものである。これは究極的には自由、独立、欲望を許容しながら、できる限り外的要因を整備していく、という方向性を持つ。

これに対して、人間の方が変わるという行き方、人間が自らの欲望を制御するということは、「閉鎖系」の社会における行き方として支持されるものである。従って、地球環境問題の解決に向けて貢献するためには、本シンポジウムのような場においても、今後は教育、倫理、社会心理など、人間そのものを変える所業に関する分野の研究者にも参加していただく必要があるのではないかと考える。

最後に、参加者、報告者、パネラー、事務局の方々に深く感謝の意を表する。

I HDP研究者交流会議の実施体制について

I HDP研究者交流会議（第10回地球環境研究者交流会議）（以下交流会議）は3機関の共同主催であり、各機関の多くの方々の協力を得て、計画され、開催されたものです。

まず日本学術会議地球環境研究連絡委員会HDP小委員会の下に交流会議プログラム委員会が設置され、交流会議のプログラム及び実施体制について検討しました。これを受けて、実行委員会が組織され、具体的な準備を行いました。また、準備や当日の会議運営にあたっては、日本学術会議事務局情報国際課、日本大学経済学部田中研究室、国立環境研究所地球環境研究センターが協力して実施しました。

交流会議プログラム委員会（HDP専門委員会の下に設置）

- 委員長 田中啓一（日本大学：HDP専門委員長）
- 委員 藤井 隆（立正大学：HDP専門委員）
- 委員 西川 治（東京大学：HDP専門委員）
- 委員 熊田禎宣（東京工業大学：HDP専門委員）
- 委員 森田恒幸（国立環境研究所：HDP専門委員）

交流会議実行委員会

- 委員長 田中啓一（日本大学：HDP専門委員長）
- 代表幹事 原沢英夫（国立環境研究所）
- 幹事 森田恒幸（国立環境研究所：HDP専門委員）
- 幹事 大坪国順（国立環境研究所地球環境研究センター）
- 幹事 藤井紀男（環境庁地球環境部研究調査室）
- 幹事 藤森真理子（パシフィックコンサルタンツ（株））

報告書編集

- 代表 原沢英夫（国立環境研究所）
- 幹事 西岡秀三（国立環境研究所）
- 幹事 大坪国順（国立環境研究所地球環境研究センター）
- 幹事 山田和人（パシフィックコンサルタンツ（株））
- 幹事 藤森真理子（パシフィックコンサルタンツ（株））

参加者名簿

氏名	所属
青柳 清	日本大学
青柳 みどり	国立環境研究所
荒水 健太郎	筑波大学
安納 住子	神戸大学
安部 喜也	東京農工大学
飯塚 里恵	東京工業大学
飯野 靖四	慶應義塾大学
池田 三郎	筑波大学
石井 久哉	富士総合研究所
石川 雅紀	東京水産大学
伊東 俊太郎	麗澤大学
伊藤 勝	(株)東京久栄
伊藤 實知子	環境庁
植田 和弘	京都大学
大井 玄	国立環境研究所
大崎 正治	國學院大学
大坪 国順	国立環境研究所地球環境研究センター
岡林 みどり	ポーラ文化研究所
岡本 和人	東洋学園大学
片谷 教孝	山梨大学
片山 忠久	九州大学
門村 浩	立正大学
金井 純治	公害対策技術同友会
茅 陽一	慶應義塾大学
榎根 勇	愛知大学
川端 真人	神戸大学
北村 貞太郎	京都大学
樹下 明	技術総研
楠田 哲也	九州大学
熊田 禎宣	東京工業大学
神前 桃子	東京水産大学
高力 直	鳥取大学
小島 宏	国立社会保障・人口問題研究所
後藤 典弘	国立環境研究所
木庭 元晴	関西大学
小林 信之	三菱総合研究所
紺谷 健一郎	(株)東芝
坂田 直起	日本エネルギー経済研究所
佐々木 昭彦	国立公衆衛生院
佐橋 陽介	新日本製鐵
品田 知美	(社)環境情報科学センター
篠田 由紀	明治大学
信夫 隆司	武蔵野短期大学

菅谷 浩樹	菅谷金属工業
鈴木 庄亮	群馬大学
鈴木 継美	東京大学
鈴木 利治	名古屋経済大学
須藤 由紀	日本マクドナルド（株）
ズルカルナイン	群馬大学
高木 喜一郎	（財）未来工学研究所
高野 健人	東京医科歯科大学
高澤 修	科学技術庁
高畠 哲史	社会経済生産性本部
竹村 一男	立正大学大学院
田中 啓一	日本大学
田畑 真夫	住友生命総合研究所
辻中 豊	筑波大学
寺田 良一	都留文科大学
東野 裕	富士通エフ・アイ・ピー（株）
中口 毅博	社会調査研究所
中島 興基	国立環境研究所
長島 弘道	国士舘大学
中田 俊彦	東北大学
中村 和郎	駒澤大学
名執 芳博	環境庁
西岡 秀三	国立環境研究所
西川 治	東京大学
西宮 昌	電力中央研究所
野田 宣踐	環境新聞社
長谷川 雅世	笹川平和財団
原嶋 洋平	名古屋大学
原沢 英夫	国立環境研究所
春山 成子	早稲田大学
樋口 敬二	中部大学
尾藤 章雄	山梨大学
比山 節男	大阪経済
平田 照	東京農工大学
福渡 潔	国立環境研究所地球環境研究センター
藤井 隆	立正大学
藤森 真理子	パンフィックコンサルタンツ（株）
船橋 晴俊	法政大学
古沢 広祐	國學院大學
堀 雅之	（社）国際環境研究協会
本郷 哲朗	東京大学
本澤 健児	地球産業文化研究所
本田 靖	国立環境研究所
増井 利彦	大阪大学
松尾 直樹	日本エネルギー経済研究所
松尾 芳雄	農林水産省

松岡 秀雄	東京大学
松葉口 玲子	昭和女子大学大学院
松原 真央	慶應義塾大学
三浦 義雄	日本大学
三品 裕正	海洋技術開発（株）
宮川 公男	麗澤大学
三宅 保信	文部省
村田 佳寿子	スタジオ・アンジュラス
村山 祐司	筑波大学
諸戸 孝明	伊藤忠商事（株）
森脇 昭夫	上智大学
森田 恒幸	国立環境研究所
矢尾板 英夫	自治医大
屋木 伸司	中央法規出版（株）
山口 治子	東京水産大学
山田 和人	パシフィックコンサルタンツ（株）
山本 敬一	野村総合研究所
山本 良一	東京大学
横田 勇	静岡県立大学大学院
吉田 徳三郎	日本大学
吉成 信行	国立環境研究所地球環境研究センター
吉野 正敏	愛知大学
渡辺 和子	（社）国際環境研究協会

第10回地球環境研究者交流会議
報告書

社会科学面からの地球環境研究の取組み
- IHDP 研究者交流会議 -

1997年7月発行

発行 環境庁 国立環境研究所
地球環境研究センター

〒305 つくば市小野川16-2
電話: 0298-50-2347
E-mail: cgercomm@nies.go.jp
Homepage: <http://www-cger.nies.go.jp>
